

西郷隆文氏寄託資料目録

令和5年3月

京都市上下水道局

「西郷隆文氏寄託資料」(寄託資料、資料点数4点)

本資料群は、第2代京都市長を務め、京都市三大事業を推進した西郷菊次郎の関係資料である。

菊次郎は、西郷隆盛が奄美大島にされていた時期の子であり、9歳の時に父の元に引き取られた。明治17(1884)年、外務省に入省し、米国公使館勤務や外務省翻訳官、台湾の宜蘭庁長等を歴任。こうした経歴を買われて、同37年に内貴甚三郎の後任として京都市長に就任した。

当館は、菊次郎に関する2つの資料群を所蔵しており、その1つである「西郷隆文氏寄託資料」は、菊次郎の四男・隆泰の長男に当たる西郷隆文氏から、当館が寄託を受けたものである。

資料の内容は、菊次郎が出張時に愛用していた旅行カバンや肖像写真等である。

凡例

- ・「資料番号」は、通し番号とした。
- ・「資料の名称」は、原則として原資料のままとした。但し、原資料に表記がない場合は、内容から判断して〔 〕内に仮の標題を付した。
- ・「点数」は、資料の数量である。
- ・「作成年月日」は、和暦を用い、明治(M)、大正(T)、昭和(S)と略記した。原資料に表記がない場合は「一」、表記はないが推定できる場合は〔 〕内に表示した。一部が記されていない場合は、その箇所を「00」と表示した。(例 明治23年に作成された資料で月日が不明の場合 → M23.00.00)
- ・「形状」は、一紙や冊子等で表示した。頁及び丁数並びに特記事項は、適宜()内に表示した。
- ・「作成者」、「名宛者」は、原則として原資料のままとした。但し、原資料に表記がない又は判読困難だが推定できる場合は、〔 〕内に表示した。
- ・「法量」は、原資料の大きさを「縦×横×幅」で表示した。単位はmmである。
- ・「備考」は、上記以外の項目で特記すべき情報を表示した。
- ・「一括」は、元々、複数の資料が封筒や紐等でまとめられていた場合に、該当する資料番号及び特記すべき情報を表示した。
- ・判読が困難な箇所について、字数が分かる場合は「■」、字数が不明の場合は「【 】」と表示した。

西郷隆文氏寄託資料目録.xlsx

| 資料番号 | 資料の名称 | 点数 | 作成 (発行・撮影) 年月日 | 形状 | 作成者 (差出・撮影) | 名宛者 | 法量 (縦×横×幅) mm | 備考 |
|------|-------------|----|----------------------|----------|----------------|-----|---------------------|--|
| 1 | 旅行カバン | 1 | - | 革製カバン | - | - | 367×423×168 | 西郷菊次郎京都市長の遺品。黒の革製アタッシュケース。2箇所の鍵穴と取っ手あり。補強用の金具が17箇所に取り付けられる。鍵の所在不明のため、開封不可。展示中。 |
| 2 | 手提げカバン | 1 | - | 革製カバン | - | - | 244×360×188 | 西郷菊次郎京都市長の遺品。片方の側面に「志賀高原ホテル／海拔五千尺／京都ホテル経営／HOTEL SHIGA HEIGHTS」と記された彩色のステッカーが貼られる。もう片方の側面にも彩色のステッカーが貼られているが脱色のため読み取れず。鍵の所在不明のため、開封不可。 |
| 3 | 〔西郷菊次郎肖像写真〕 | 1 | - | 複製写真(額装) | - | - | 353×263×16 | 額は木製、表面にガラス板がはめこまれ、裏面に吊下用の紐が備え付けられる。京都市長時代の写真。 |
| 4 | 〔西郷菊次郎肖像写真〕 | 1 | - | 複製写真(額装) | - | - | 442×320×16 | 額は木製、表面にガラス板がはめこまれ、裏面右下に吊下用の金具がセロハンテープで固定される。晩年の写真。 |